

香り豊かな紅茶と濃厚なジャージー牛乳のとろける味わいのスイーツ 「ジャージー牛乳プリン ロイヤルミルクティー」を再発売

2019年9月17日（火）より、全国で発売

オハヨー乳業株式会社（本社：岡山市中区、代表取締役社長：野津 基弘）は、希少なジャージー乳を贅沢に使用したミルクデザート「ジャージー牛乳プリン」シリーズの新商品として、秋限定で「ジャージー牛乳プリン ロイヤルミルクティー」を9月17日（火）から全国で発売いたします。



■商品特長（ここがポイント！）

- 香り高い紅茶と濃厚なジャージー乳でつくる、リッチな味わいのとろけるデザート**
国内の乳牛飼養頭数の0.8%と非常に希少なジャージー牛のミルクを贅沢に使用し、さらに厳選した「アッサム」「ニルギリ」「ディンブラ」の紅茶をバランスよく合わせることで、香り豊かな味わいに仕上げました。
また、ミルクの繊細な風味、紅茶の上品な香りをお楽しみいただけるよう、とろけるようになめらかな食感&心地よい余韻に仕上げています。
- 2018年秋発売の人気商品をリニューアルして再発売**
2018年秋に発売した「ジャージー牛乳プリンロイヤルミルクティー」は惜しまれつつも2019年3月に販売終了。その後「アールグレイラテ」「チャイラテ」と紅茶系の味わいを展開してきました。そして2019年9月、秋にピッタリのフレーバーとして昨年も好評だった「ロイヤルミルクティー」を季節限定で再び発売いたします。
- 発売20周年のロングセラーシリーズ**
オハヨー乳業の「ジャージー牛乳プリン」シリーズは1999年に発売。今年で20周年となるロングセラー商品です。発売以来、希少な素材を大切にしながら、食感や味わい、容器形態の改良を重ね、現在まで多くの方にご愛顧いただいています。

■ジャージー牛とは？

ジャージー牛は、英領ジャージー島原産の乳牛です。一般的な乳牛としてよく知られている白黒模様「ホルスタイン種」と比べて小柄な体格のため、搾乳量も少なく、国内の飼養頭数は全乳牛のわずか0.8%と希少な乳牛ですが、その牛乳は濃厚でコクがあり、味わい深いという特徴があります。



■商品概要

商品名	ジャージー牛乳プリン ロイヤルミルクティー		
名称	洋生菓子	保存方法	要冷蔵（10℃以下）
内容量	115g	希望小売価格	145円（税別）
販売地域	全国		
発売日	2019年9月17日（火）		

■ ジャージー牛について



ジャージー牛は、英領ジャージー島原産の乳牛です。一般的な乳牛としてよく知られている白黒模様の「ホルスタイン種」と比べて、小柄な体格ですが、その牛乳は濃くて味わい深いという特徴があります。また人懐っこく愛嬌のある性格も特徴のひとつです。

ジャージー牛の飼養頭数は少なく、国内の乳牛のわずか0.8%と希少な乳牛ですが、1954年から導入した岡山県蒜山高原をはじめ、北海道や熊本（小国）などで主に飼養されています。

■ 乳牛の飼養頭数（平成31年1月現在）

種別	頭数（全国）	構成比
ホルスタイン種	1,351,000	98.7%
ジャージー種	11,259	0.8%
その他	6,858	0.5%
乳用牛計	1,369,117	100.0%



蒜山高原（岡山県）

（独）家畜改良センターホームページ（平成31年1月度）よりオハヨー乳業にて作成
<https://www.id.nlbc.go.jp/data/toukei.html>

■ 牛乳の違い（ホルスタインとジャージー）

ホルスタイン種と比較すると、ジャージー種は体格が小柄で搾乳量も少ないですが「乳脂肪分」「乳たんぱく」「無脂乳固形分」のすべての項目で上回っています。これが、濃厚でコクのあるおいしさにつながっています。

種別	平均搾乳量（kg）	乳脂肪分（%）	乳たんぱく（%）	無脂乳固形分（%）
ホルスタイン種	9,633	3.88	3.28	8.75
ジャージー種	6,468	4.89	3.88	9.28

家畜改良事業団・平成29年度検定成績よりオハヨー乳業にて作成（305日2回搾乳）